

とぎつ

令和7年
第3回定例会

NO.179

2025年10月17日

発行

継林 継林

発行：長崎県時津町議会

議会だより

- ◎ 令和6年度一般会計他決算 4～6
- ◎ 議員活動報告 7
- ◎ 一般質問 8～17
- ◎ クラブ活動紹介 18～19



議員・執行部一丸となって 時津町 PR ポロシャツで挑んだ定例会



新たに決まったこと・変わったこと（一部抜粋）

- 海と緑の公園、ウォーターフロント公園のトイレを改修する。
- 消防団本部の機能強化のため、消防団員の定数を2名増やし、居住及び年齢の要件を緩和する。
- 野田川排水対策事業や平原川浚渫工事などの予算を計上した。
- 教育支援員を新たに2名時津北小学校に追加配置する。
- 崎野自然公園の浮棧橋の件、1,050万円を削除。再検討する。

令和7年第3回定例会（9月議会）の議案及び賛否

議員は
こう判断した

議案等番号	議案名	審議結果	内田	鳥居	永田	古谷	森	大塚	平埜	川原	浜辺	中原	久保	新井	濱崎
			裕三	浩一	博信	文夫	孝太郎	俊久	靖	貴光	なみえ	ゆう子	哲也	政博	幸徳
第69号	令和6年度時津町一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○
第70号	令和6年度時津町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○
第71号	令和6年度時津町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○

○：賛成 ●：反対 △：退席 欠：欠席 ※議長は裁決に加わらないため、掲載していません。
※紙面の都合により、今回提出された24議案のなかで、反対のある議案のみ掲載しています。

令和7年度 補正予算

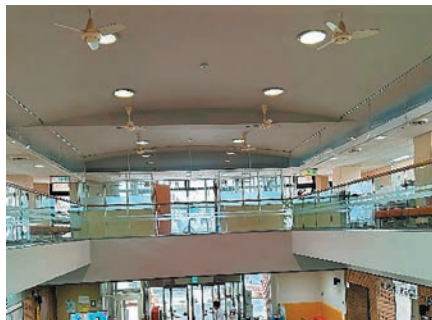
一般会計補正予算 4億1,258万8千円追加
 予算総額 151億839万7千円

会計区分		補正額	予算総額	
一般会計		4億1,258万8千円	151億839万7千円	
特別会計	国民健康保険	1,391万5千円	28億2,778万8千円	
	後期高齢者医療	300万6千円	4億8,025万3千円	
	介護保険	保険事業	5,311万8千円	24億6,180万6千円
		介護サービス事業	66万9千円	2,411万5千円
事業会計	水道	収益的収入	29万6千円	
		収益的支出	▲37万1千円	
		資本的収入	0円	
		資本的支出	4,037万1千円	
	下水道	収益的収入	▲37万8千円	
		収益的支出	630万8千円	
		資本的収入	0円	
		資本的支出	711万4千円	

補正予算の主な項目及び補正額



野田川排水
 対策事業
6,188万円



役場庁舎 LED 照明
 改修工事
4,208万4千円



平原川浚渫・
 改修事業
5,360万円

決算審査特別委員会審査

令和6年度一般会計他決算を認定

令和7年第3回定例会本会議において、決算審査特別委員会に付託された議案審査のため委員会を開催、審査の中で多くの質疑を交わし、議案第69号から74号まで原案通り認定した。

以下、主な質疑を抜粋して報告する。

議案第69号

令和6年度時津町一般会計歳入歳出決算の認定について



議員全員出席の決算審査特別委員会

Q 時津町民総活躍プロジェクト推進委員会における活動内容や、これまでの総括をどう考えているか。

A さばくさらかし岩や崎野自然公園などのPR事業を展開し、時津の魅力を外内に発信するなど、一定の成果をあげることができた。

しかしながら時津らしく元気であり続けるためには、さらなる進化に向け、チャレンジする姿勢が不可欠と考える。

そこで、従来の枠組みにとらわれず、官民が連携する組織づくりを進め、地方創生の取り組みをさらに強化する。

〈企画財政課〉



時津町 PR シャツ

Q 鳴鼓岳の整備事業は完了という認識で良いか。

またプロジェクトDの取り組みは。

A 鳴鼓岳整備事業は一通り完了。プロジェクトDどんぐりの取り組みは活性化を強化し、さらに、時津町の魅力を知ってもらえるよう、デジタルイラストマップの活用も検討し、告知・広報に力を入れる。

〈産業振興課〉



鳴鼓岳の景色

濱田 元町議会議員



鳴鼓岳からの景色は最高ですのでぜひ見に行ってください

Q おくやみ窓口コンシェルジュは、来られた方をそれぞれの窓口につれていくという流れか。

A 従来は、ご遺族の方が各課を回り、口座情報など同じことを何度も聞かれることがあったが、制度導入後は、ワンストップでの手続きが可能となり、負担軽減にもつながっている。

なお、予約無しでも対応する体制を整えており、コンシェルジュが不在でも、住民環境課職員で対応可能である。



Q 教育支援員の応募資格は。

また、教育支援員は足りているか。

A 応募資格については、教員、保育士等の免許を持っている方。

特別支援学級が増加している中で支援員の数は充分ではないと感じている。これについては県費での財源措置をして欲しいと考えている。

〈教育総務課・学校教育課〉

浦郷在住

内山 美希子さん



町の活発な活動には感謝しています。今後とも子ども達の為に宜しくお願いします

《討論》

反対討論

町民の暮らしと福祉を応援するという点が十分とは言えない。

長く続く物価高騰で、本当に苦しい生活を強いられているからこそ「住民の福祉の増進を図る」という自治体本来の仕事に徹し、そのための予算を優先する必要がある。

学校給食の無償化、災害時の避難所にもなる学校体育館へのエアコン設置、さらに低所得者などへのエアコン購入設置補助も拒否し続けている。

以上をもって町民の願いに十分応えた決算になっていないことを指摘して、反対討論とする。

賛成討論

なし。

採決 議案第69号は、賛成多数により認定すべきと決した。

議案第70号

令和6年度時津町 国民健康保険特別会計歳入歳出 決算の認定について

◎ 実質収支が令和5年度の1億42万6千円から4千705万9千円となっているが、減少している要因は。

A 激変緩和措置の終了に伴う事業費納付金の増額、被保険者の減少による収収の減少が主な要因である。

《討論》

反対討論

国保税が高すぎて払えず、滞納したことで保険証を取り上げて、資格証明を交付することは本来あってはならないことである。

保険証が取り上げられれば10割負担で、社会保障としての権利が奪われる。

国保税を徴収できなかった理由は無財産79.1%、生活困窮が20.9%となっており、この数字から、皆保険制度として町民の負担になっていることを指摘して、反対討論とする。

賛成討論

なし。

採決 議案第70号は、賛成多数により認定すべきと決した。

議案第71号

令和6年度時津町 後期高齢者医療特別会計歳入歳出 決算の認定について

◎ 後期高齢者医療広域連合納付金が7千800万円増えているが、医療費がどれくらい増えているか。

また、保険料改定の状況は。

A 本町における一人当たりの後期高齢者医療給付費の年額は、ここ数年100〜120万円となっており、被保険者が増加すれば、医療給付費も増加することとなる。

「保険料改定の状況」

○令和4・5年度は、

均等割額4万9千400円、

所得割率9.03%

○令和6・7年度は、

均等割額5万2千400円、

所得割率10.31%

《討論》

反対討論

物価高騰による負担増が続くなか、年金は低く抑えられたままで、保険料の負担増による受診抑制が起きる。

医療制度という差別制度を廃止し、元の老人保健制度に戻すべきである。

減らされてきた高齢者医療制度への国庫負担を抜本的に増額し、高齢者・国民の負担軽減を進めるべきということとを述べ、反対討論とする。

賛成討論

なし。

採決 議案第71号は、賛成多数により認定すべきと決した。

議案第72号

令和6年度時津町 介護保険特別会計歳入歳出 決算の認定について

◎ 地域密着型介護サービス給付費が減っているが、どのように考えているか。

A 地域密着型介護サービスについては、本町に住所がある方のみがサービスを利用できることができる。

要介護者は、ケアマネジャーがその方にあったケアプランを作成するため、グループホーム等の地域密着型施設が在宅での生活かなど、対象者に合ったプランを検討する。

このような状況であるため、地域密着型介護サービス給付費の増加や減少があるものの、介護給付費全体で見ると、概ね計画の範囲内で推移している状況である。

《討論》

反対討論

なし。

賛成討論

なし。

採決 議案第72号は、賛成多数により認定すべきと決した。

議案第73号

令和6年度時津町水道事業会計

利益の処分及び決算の認定について

◎ 水道給水管の布設替えについては計画的に行っているか。

▲ 現在、全体計画やアセットマネジメント計画等を作成中であり本年度完成し、来年度より、本格的に管路更新計画を作成し、布設替えを行っていく予定である。

〈利益の処分について〉

《討論》

反対討論 なし。

賛成討論 なし。

採決 議案第73号のうち「利益の処分」については、全委員異議なく、原案のとおり可決すべきと決した。

〈決算の認定について〉

《討論》

反対討論 なし。

賛成討論 なし。

採決 議案第73号のうち「決算の認定」については、全委員異議なく、原案のとおり認定すべきと決した。

議案第74号

令和6年度時津町下水道事業会計

利益の処分及び決算の認定について

◎ 居住者がいなくなる（死亡等）場合、浄化槽はどうするか。

▲ 使用中止届を提出してもらい、清掃を行う。
また、使用再開する場合は、使用再開届を提出してもらい、清掃や微生物を注入し使用可能な状態に戻す。

〈利益の処分について〉

《討論》

反対討論 なし。

賛成討論 なし。

採決 議案第74号のうち「利益の処分」については、全委員異議なく、原案のとおり可決すべきと決した。

〈決算の認定について〉

《討論》

反対討論 なし。

賛成討論 なし。

採決 議案第74号のうち「決算の認定」については、全委員異議なく、原案のとおり認定すべきと決した。

（三役、関係部長・次長質疑）

◎ 西彼杵道路（時津工区）や町道日並左底線などが開通し、渋滞緩和されているものの、本町の渋滞イメージは完全に払拭していないと思われる。

渋滞に関しての町長の見解と今後の町道整備は。

また、時津・長与を結ぶ町道整備の計画についてどのように考えるか。

▲ 西彼杵道路（時津工区）が完成したことにより、時津町内の国道206号線の朝夕の通勤渋滞は、一定解消されたが、土日祝日には時間帯によって、渋滞が発生している。

これは、通過交通ではなく時津・長与間の住民の方の車移動によるものだと考えられる。

207号線は、日常的に渋滞が発生している。

渋滞対策として206号線は、長崎県がアクセス道路である主要地方道長崎畷刈線（滑石工区）の整備を行っており、この道路が完成すると滑石の方へ通じるため、時津交差点、井手園交差点の交通渋滞の緩和が今よりもできると思う。

これは令和14年度の完成予定であるが、早期の完成を県及び国へ要望している。

207号線の渋滞対策は、区画整理



井手園交差点 朝の渋滞

の完成でどうなるのかであり、令和9年度には完成予定で、207号線の長与から時津交差点に向かっていく車の流れが西時津小島田線（打越工区）、西時津左底線、西時津浜田線に流れ込んでいくと分散化される。

区画整理が終わって都市計画道路の各線が完成した時（令和9年度以降）に交通量調査をして、交通の流れをみる。

その後、時津・長与を結ぶ町道整備はどこを結ぶかによって変わってくるが、一番どこが効果的なのか考えていく。

令和9年度に一定今計画している道路が完了するので、状況によっては次の交通網整備が必要になってくる。

議員

活動報告



県下町村議会議員研修会



研修風景

期日 令和7年8月5日
目的 町議会の活性化に資するため
研修場所 長崎県市町村会館(長崎市)
研修議員

- 山口議長、濱崎副議長、新井議員、久保議員、中原議員、川原議員、平埜議員、大塚議員、森議員、古谷議員、永田議員、鳥居議員、内田議員

1、「地域を持続可能とする

公共交通対策」

講師

名古屋大学大学院環境学研究所

教授 加藤 博和氏

【研修報告】

道路運送法、介護保険、障がい者総合支援法、委託事業など今後は、市民活動からサービスが多様になる「移動サービス」を研修してきました。

高齢になっても障がいがあっても、いままで暮らしてきた地域で安心して暮らし続けるには、通院、買い物などに伴う「移動・外出」が欠かせません。そういった自分で外出することに困難を感じる人たちにも、使いやすく安全な移動手段を確保することは、これからの人口減少・高齢化社会において、重要な地域課題のひとつになります。

議員としても今後、研修材料になり、学んだことを議会活動に活かしていきます。



2、「これからの地域社会の

ための獣害対策」

講師

兵庫県立大学自然・環境科学研究所

教授 山端 直人氏

【研修報告】

時津町としても獣害(主にイノシシ)被害が多少なりある中で地域政策・持続的な獣害対策を公助も大事であるが、共助の提案・支援に力を入れることが特に大事になっています。

地域でみられる「獣害」の5つの原因として

- ① 人が被害と思わないエサがある。
- ② 防護柵が正しく囲えていない。
- ③ 隠れ場がある。
- ④ 正しく追い払えていない。
- ⑤ 効果的に捕獲できていない。

など様々な対策を必要とする中で、議員として今回、学んだことを議会活動に活かしていきます。



住宅地近くにも出没したイノシシ

全国町村議会広報研修会



研修風景

期日 令和7年8月28日

目的 町議会の活性化に資するため

研修場所 LINE CUBE SHIBUYA

研修議員

濱崎副議長、森議員、古谷議員、永田議員、鳥居議員、内田議員

① インタビュー記事を足して

読まれる広報紙にしよう

講師 丘村 奈央子氏

② スマートフォンを活用した

撮影技術・動画制作の基本

講師 渡川 修一氏

③ 議会活性化と連動した広報づくり

講師 平山 賢治氏

【研修報告】

今回の研修により、「議会の見える化」を考え、動画などを取り込む事により、若者層にも見て頂く紙面を研究していきます。

一般質問

■ 質問の内容は
事前通告制です

新井 政博 議員

9



- 1、公共施設の改修・新築等の計画について
- 2、成年後見制度について

鳥居 浩一 議員

10



- 1、中学生用1人1台端末事業について
- 2、中学部活動の地域移行について
- 3、時津町のグッズの取り扱いについて

濱崎 幸徳 議員

11



- 1、長崎空港への旅客定期航路と地域公共交通について
- 2、図書館行事であるビブリオバトル大会について

川原 貴光 議員

12



- 1、ため池について
- 2、B&G2階の卓球場及び剣道場へのエアコン設置と補修について

古谷 文夫 議員

13



- 1、自治体DXへの取り組みについて
- 2、入札について
- 3、高齢者への介護予防施策について

中原 ゆう子 議員

14



- 1、町内の労働に関することについて
- 2、シニアクラブについて
- 3、交通費助成金について

浜辺 なみえ 議員

15



- 1、自衛隊及び防衛省への協力について

久保 哲也 議員

16



- 1、地場産業の振興について
- 2、学校における「平和教育」について

永田 博信 議員

17



- 1、中学生の海外派遣事業及び海外とのオンラインによる英語授業について
- 2、義務教育学校の設置について

*各議員の一般質問は、録画放送をQRコードよりご覧になれます



新井 政博 議員



録画放送はこちらから

施設の改修・新築等の計画を急げ

効率的な公共施設の維持管理を

図っていく

山上 町長



築50年経った図書館

時津町の保有する公共施設の劣化については、ただ単に元に戻すだけでなく時代ニーズに対応した施設へ転換を図る必要がある。
今後の課題は、施設全体を把握し長期的な視点を持って更新・長寿命化などを計画的に行い、財政負担を軽減・平準化し、施設の最適な配置の実現が必要ではないかと考え、次の点について伺う。

Q 総務省が策定を要請している、公共施設管理計画とは。

A 計画とは、施設の保有量や老朽化の状況、利用状況、維持管理にかかる経費の見込みなどを分析、施設の更新や統廃合などの検討をする。

本町は、平成29年に策定し、令和4年に改訂を行ったが、今後、見直しに向けた準備を進めている。

Q 公共施設の老朽化に伴う財政負担の状況は。

A 現行の全ての施設を今後も維持することと仮定した場合、今後35年間で総額343億1千万円の改修・更新費用が必要と見込まれる。

Q 施設ごとの評価ノートをつくるべきではないか。

A 現在のところ、施設整備課において、作成手法等の情報を収集するなど研究中である。

Q 予防保全による点検・修繕・改修などを実施し、建物の長寿命化を目指すことにより、何年もつか。

A 長寿命化改修を行うことで、建物の使用可能年数を20年から30年程度延伸することが期待できる。



改修中のカナリーホール

Q 町の施設管理体制はどうなっているか。

A 管理に関しては、所管課を中心に、大規模な改修工事や専門的な対応が必要な案件については、施設整備課が連携し対応するなど、効率的な維持管理体制を構築している。

Q 複合施設を兼ね合わせた図書館の新設は考えないか。

A 現時点において、新設など、具体的な方針や計画を示す段階には至っていない。

Q 改修に合わせてカナリーホールの飲食店の公募はしないか。

A 誰もがワクワクするような開放的で魅力あるスペースを創出するため、現力フェオナーの意見もお伺

いして、公募も含め検討する。

成年後見人制度の確立を急げ

制度の利用促進に積極的に取り組む

山上 町長

Q 地域ネットワークづくりの進め方や、中核機関の設置は、どのように考えているか。

A 地域連携ネットワーク作りは非常に重要であり、成年後見制度の利用促進につながると考え、高齢者支援課、福祉課及び日常生活自立支援事業を実施する時津町社会福祉協議会との連携を図っていく。

制度利用の進捗管理や調整等を行う司令塔機能を担う「中核機関」の設置を行うため、関係機関との協議を重ね、令和7年4月1日から、本町が「中核機関」となり、関係機関と連携を図りながら、引き続き成年後見制度の推進を、積極的に図る。

「中核機関」の大きな役割として広報業務と相談業務があり、広報業務は情報を広く周知し、制度の利用促進を図る。

相談業務は、相談を受け付け、制度利用に関する情報提供や助言を行うもので、必要に応じて弁護士、司法書士、社会福祉士など、専門家への紹介を行う。



中学生一人1台 タブレット端末の成果は

学力を伸ばさず手助けとなっている

相川 教育長

令和7年6月の定例会により967台、約4千万円の更新契約を可決した。

中学生の学力の向上と教職員の負担軽減が目的であると考えている。将来の本町発展の為に優秀な人材育成にとって、大変素晴らしい取り組みと評価している。

Q 学力の向上は見られたか。

A 一人1台端末の導入が、直接的に学力の向上につながったという実証データはないが、約9割の生徒が、一人



使用しているタブレット

1台端末を使って「文章を作成できる」や「情報を収集できる」さらには、集めた情報をもとに「資料を作成することができる」とアンケート調査に答えており、一人1台端末を活用しての情報活用能力は生徒の学力を伸ばすための大きな手助けになっていると考えている。

Q 教職員の負担軽減はできているか。

A 教員がこれまで紙で実施していた生徒たちへの各種アンケート調査を端末を通じて回答・集計までできるようになり、大きな時間の削減ができた。

また、インターネットを利用したデジタル教材の配布により、これまでのプリントを印刷し、配布にかかっていた時間と労力が必要なくなったことに加え、印刷用紙の節約もでき、経費削減も可能となった。

中学校部活動の地域移行は

2校合計で、11団体が完了した

相川 教育長

Q 長崎新聞の令和7年5月17日に掲載していたが、国において公立中学校の部活動を地域のスポーツ団体などに委ねる「地域移行」に関し、

2031年までに全ての部活動での移行を目指すことにした。
現在の進捗状況は。

A 令和7年9月1日現在、時津中学校では、バスケットボール女子、卓球男子、卓球女子、サッカー、バレーボール女子、陸上、剣道の7団体。

鳴北中学校では、サッカー、バトミントン女子、陸上、剣道の4団体、合計11団体の運動部が地域移行を完了している。

Q 今後は、具体的にどう進めていくか。

A 休日における運動部活動の地域移行では、休日の運動部活動の地域移行推進計画を作成し、指導者、顧問、保護者、スポーツ協会等に対して説明会を実施し、地域移行の進め方など説明した。

また、地域移行が済んでいない運動部活動については、進捗状況を確認し、助言を行いながら、本年度中に全ての運動部活動が地域移行できるように進めていく。

平日の運動部活動及び文化部活動の地域移行については、国の方針等を踏まえながら、検討委員会で協議を行い、進めて行く。

新しいグッズの企画・販売は

今後も研究し、検討していきたい

山上 町長

Q 本町には、鯖くさらかし岩、崎甚左衛門の墓、茶屋本陣等の名所・旧跡があるが、現在、取り扱っているグッズは何種類あるか。

A 時津アンテナショップ「BRIDGE」で「Tシャツ」「手ぬぐい」「透明お守り」等、10種類を取り扱っている。



いろいろなグッズがあるよー

Q 今後、新しいグッズの企画・販売は、考えているか。

A 「時津町民総活躍プロジェクト推進委員会」が中心となり、今後は、さらに進化した新しい官民連携組織について研究し、新しいグッズの企画や販売方法についても検討する。



濱崎 幸徳 議員



録画放送はこちらから

長崎空港定期航路の維持を

連絡船の存在を知ってもらって
ことが出発点である 山上 町長

地域公共交通は、全国的にも経営が厳しい状況に陥っている。

長崎空港への直行便は、時津港だけが就航しているが、定期航路の維持が困難になってきている。

地域公共交通の維持は、交通事業者だけに任せていけば、採算が取れていた時代ではなく、採算が取れておらず、本町の宝とも言うべき、空港旅



定期航路の維持が課題

客定期航路の維持について、本町の考えを伺う。

Q 本町は、長崎空港までの旅客定期航路は地域公共交通と位置付けているか。

A 地域住民の日常生活若しくは社会における移動のための交通手段として利用される「バス」「タクシー」が該当するが、長崎空港を利用する観光客等の移動のための交通手段として利用する「旅客定期航路」も広義的には含まれると考えられる。

Q 年間の乗客数は。

A コロナ禍の令和3年度には約1万人まで減り、その後、直近の令和6年度で約3万人まで回復している。

Q 時津港から、長崎市までの交通の便が良いともっと利用者が増えると思うが、町の見解は。

A 時津港まで渡った後、長崎市まで移動する手段として、現在のところ、路線バスかタクシーなどが考えられる。

仮に、時津港からレンタカーで移動することができれば、長崎市街地に移動するだけでなく、三重や琴海、大瀬戸、大島方面など、幅広く

多方面に移動する方も連絡船を利用することになると思われる。

Q 安田産業汽船は、定期航路維持が困難のため、町から借りている町営駐車場料金値上げ分の見直しをお願いしているが、町の見解は。

A 時津町営駐車場は、平成6年11月に時津港第1駐車場を開設以降、駐車場使用料の改定は行っていなかった。

時津港第4駐車場の新設にあわせ令和7年第1回定例会において、時津町営駐車場条例・使用料の改定案を可決しており、月額5千500円から7千700円に改定した。

町営駐車場の設置目的及び住民等の公平性に鑑み、議会の可決もあり見直しは難しいと考える。

ビブリオバトル大会の存続は

引き続き実施する

相川 教育長

令和7年で、中学生ビブリオバトル大会は私が提案し、図書館行事として開催、10年を迎える。

今では、図書館行事として町民の皆様から認知されている。そこでこれまでと、これからの展望を伺う。



令和6年度ビブリオバトル大会

Q 中学校において、大会への校内選考は、どのように行っているか。

A 夏休みの課題として、生徒がおすすめの本を紹介動画に録画して提出し、国語の時間を活用してクラス代表を決定した後、総合的な学習の時間を活用しクラスの代表による発表会を行い、各学年1人代表を選出し、大会に出場することとなる。

Q これからもビブリオバトル大会を図書館行事として考えて行くか。

A 子どもから大人まで幅広い世代に読書の楽しさが広がるとともに、要約力や表現力の向上、発表を聞く側においても傾聴力や批判的思考力の育成にもつながっており、世代や立場を超えた学び合いの場が形成されるなど、読書推進と地域交流の両面において、有意義な効果を生み出している。

以上のことから、ビブリオバトルの開催については、実施して行く。



本町ため池の管理状況は

優先的に防災対策を実施する

山上 町長

Q 町が管理するため池は何箇所あるか。

A 日並郷の「平床ため池」、久留里郷の「久留里ため池」、左底郷の「左底ため池」と「扇谷ため池」、野田郷の「下山ため池」、浜田郷の「大城ため池」と「順手ため池」、西時津郷の「イカリため池」の8箇所である。



「平床ため池」の活用法は

Q 国から調査依頼があり、すべてのため池を調査したと思うが、調査内容とその結果の対応策は。

A 本町においては、合計11箇所のため池が指定され、防災工事対象評価項目別で、堤体の変状や漏水で2箇所、洪水吐きの変状で6箇所、取水放流施設等の変状で5箇所という状況で、対応策として、今年度から漏水が基準以上に発生している浜田郷「山陰ため池」について、改修工事の測量調査設計を実施している。

Q 実際に全く利用していない場所(箇所)はどこがあるか。

A 日並郷の「平床ため池」、左底郷の「扇谷ため池」、浜田郷の「大城ため池」、「順手ため池」、西時津郷「イカリため池」の5箇所である。

Q 「平床ため池」は今後、埋め立て、墓の駐車場にしてほしいとの声があるが、活用法についての見解は。

A 長崎県が策定した「防災重点農業用ため池に係る防災工事等推進計画」で、日並郷「平床ため池」は、令和8年度から12年度までの後期計画期間の5年間で廃止工事を実施する予定で、廃止後の活用方法については、地元の見解を聞き事業を進めていく。

B&G2階にエアコン設置を

多額の費用が伴ったため設置は難しい

相川 教育長

Q B&G2階の年間利用者団体数と延べ総数は。

A 令和5年度実績で、年間利用団体数は、64団体、延べ利用者数は1万4千474名。

Q 暑さで危険な状態での利用者への対応やルールはあるか。

A 「危険」や「嚴重警戒」など熱中症目安をロビーに表示、最終的には各団体の判断に委ねている。

Q 実際に熱中症や体調不良等の報告はないか。

A 報告はないが、今年5月、自家用車内で持病により体調不良を起し救急搬送した例はあった。

Q 今まで利用者からエアコン設置の要望があったと思うが、検証した結果は利用者に報告しているか。

A エアコン設置の要望について、直接窓口や職員へ相談した方には、多額の費用が伴うことを説明し、設

置は難しい旨を伝えている。



練習の合間に給水する児童

町長としてエアコン設置の考えは無いか

今のところ整備の考えは無い

山上 町長

Q 利用者の健康面と利用率を考えるとエアコン設置をする時期にきていると思うが、町長の考えは。

A B&G2階のトレーニングルーム全体を冷やす設備については、今のところ整備する考えは無い。

現状の最善の方法としてトレーニングルームの一部に空調を完備した、畳5畳分ほどの無料で利用できる、クールダウンルームを設け、利用者が、今まで以上に安全かつ快適に利用できるような環境を整えたいと考えている。



古谷 文夫 議員



録画放送はこちらから

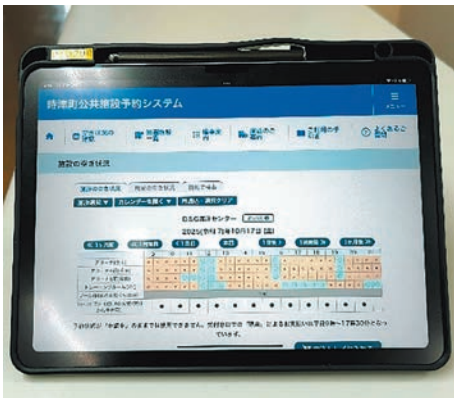
DXの推進による行政手続きの効率化を急げ

証明書コンビニ交付サービスなどすでに始めている

山上 町長

Q 役場窓口での住民票と印鑑証明書の交付件数は、コンビニ交付サービスによりどのくらい減少したか。また、職員の窓口対応時間はどの程度削減できたか。

A 令和7年2月から7月までのコンビニ交付は1千589件である。これは、交付件数全体の約19%で



スマートフォンやパソコンで会場を予約できる

あり、仮に、役場窓口に来庁され、1件当たりの受付対応に10分の時間を要するとして試算した場合、年間で約531時間の業務時間が削減できると見込んでいます。

Q 社会教育施設のオンライン申請において苦情は出ていないか。

また、受付業務の時間をどの程度削減できたか。

A 当初は「使い方がわからない」といった問い合わせがあったが、窓口専用タブレットで操作方法を説明するなどして、今では、苦情や要望等はほとんどない。

令和7年4月から4カ月間の「社会教育施設予約システム」の利用件数は1万803件であり、1件あたりの受付対応に5分の時間を要するとして試算すると年間では2千700時間の削減を見込んでいます。

Q これらの取り組みは、働き方改革の観点からどのような業務改善や効率化が図れたか。

A 窓口対応や電話対応が減少し、業務改善や効率化が進んで、職員の業務負担軽減が図られている。

これらのシステムを多くの方が利用することによって合計で3千200時間程度削減されると想定しており、結果的に働き方改革の推進

につながると考えています。

競争入札を電子入札にする予定は

現時点では、電子入札を導入する考えはない

山上 町長

Q 令和5年度、令和6年度において、工事関係、調達物品関係で、何件の競争入札があったか。

A 件数は左記のとおり。また、長崎県の呼びかけで、県と

内訳	令和5年度	令和6年度
建設工事	102件	106件
建設関連業務	14件	26件
業務	25件	24件
物品	22件	14件
総数	163件	170件

希望する市町村が共同利用できるように「長崎県電子入札システム共同利用協議会」の設立を検討したことがあるが、導入するメリットが少ないとの事で成立しなかった。

高齢者への介護予防施策は

体を動かし楽しい健康づくりなどいくつかの事業を実施している

山上 町長

Q 75歳以上の人は何名いるか。

A 令和7年3月末で、男性1千785名、女性2千619名、合計4千404名である。

Q 介護認定を受けていない人の人数と割合は。

A 要支援1、2の認定を受けている人が380名、要介護1〜5の認定を受けている人が843名、合計1千223名が認定を受けており、3千181名が受けていないので、その割合は72.2%である。

Q 介護認定率は、県下ではどの位の位置にあるか。

A 「要介護認定率」は、16.8%で、県下では下から6番目である。



元気に体を動かそう!



時津町の「労働人口」の推移は

1995年からほぼ横ばい

山上 町長

Q 町内の労働人口の近年の推移は、

A 国勢調査における、本町の「労働人口」は次のとおりになる。

実施年度	労働力人口
1995年	13,520人
2005年	14,836人
2015年	14,698人
2020年	14,563人
2025年	未実施

※総務省による労働力調査は、全国から抽出する標本調査として実施されており、市町村単位での数値がない為、国勢調査による数値を参照。

Q 7月の合同企業説明会において、参加企業と参加者の数は、

A そのうち何名が採用に繋がったのか。

Q 令和7年7月12日に、合同企業説明会を実施し、参加企業と参加者はそれぞれ12社と30名であった。

合同企業説明会参加者の就職状況については、例年、翌年2月頃に調査を実施しているが、今年度はすでに1名の採用に繋がったという報告をもらっている。

Q シルバー人材センターやハローワークなどの求人情報を、町のホームページなどに掲載できないか。

A 求人情報に関しては、募集期間や応募状況など、リアルタイムでの更新作業が必要な情報で、各サイト等で求人情報を収集していただければと考えている。

しかしながら、町のホームページにおける「長与・時津シルバー人材センター」や「ハローワーク長崎」の紹介やリンクなどの掲載については、より分かりやすくするなど、工夫したいと考えている。



合同企業説明会 会場風景

シニアクラブの補助金増額を

物価の高騰など、総合的に勘案し、補助金の増額を決定した

山上 町長

Q シニアクラブに対する補助金を上げてはどうか。

A シニアクラブの活動につきましては会員数の減少に加え、令和2年から令和5年にかけてのコロナ禍、さらにはここ数年の物価高騰により、活動に要する経費増加についても充分認識している。

今年度に入り、シニアクラブの各種活動や、6月に町内4カ所で開催した「まちづくり懇談会」など、様々な機会を通じ、「活動運営が厳しい」旨の相談を受けた。

8月には、本町シニアクラブ連合会会長から、補助金増額等の要望書が提出されたところである。このような状況を総合的に勘案し、補助金の増額を決定した。

Q 町内在住で70歳以上の運転免許証を持っていない高齢者に対して、年間9千円の助成を行っているが、自身ではバスにもタクシーにも乗れないため、子供や孫に連れて行ってもらうっている。

A 「ガソリン代として助成してもら



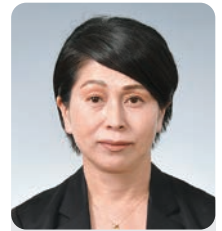
「高齢者交通費助成事業」相談窓口

えないか」と尋ねられることがあるが、長崎市などは、ガソリン券を助成しているので、時津町もガソリン券の助成をしてはどうか。

A 「高齢者交通費助成事業」は、本町に1年以上お住いの70歳以上となる方のうち、運転免許証を所持していない方が対象で、年間9千円を上限にバスまたはタクシーで利用できるエヌタスマネー或いは助成券を交付する事業である。

長崎市に確認したところ「障害者交通費助成事業」として、5千円を上限とし実施されていた。

本町の事業と長崎市が実施している事業は、政策的や対象者が異なるとの認識であり、ガソリン券助成については、今のところ考えていない。



浜辺 なみえ 議員



録画放送はこちらから

自衛隊への個人情報提供は プライバシーの侵害では

侵害にあたらないと考えている

山上 町長

Q 本人にも親権者にも何らの通知も同意をとる手続きもなく、18歳と22歳の個人情報自衛隊に提出することは、プライバシーの侵害ではないか。



街を行進する自衛隊員

A 法的根拠をもって適正に対応しているため、プライバシーの侵害にあたらないと考えている。

Q 本町は、義務でもなく、応じなくとも不利益がない自衛隊への個人情報提供をやめるべきではないか。

A 義務ではないが、提出を求める権限を有する者から、適法に提出依頼があったときは、提出できない特段の理由がない限り、その依頼には応じるべきだと考えている。

Q 本町で、自衛官等の募集案内が届いた事例や、自衛隊が「自衛官等の採用に関するご案内」等を持って訪問している実態はないか。

A 自衛隊長崎地方協力本部琴海地域事務所に確認したところ、本町が提供した情報をもとに、7月初旬に自衛官募集のリーフレットを郵送し、7月1日から8月7日までの間に、家庭訪問を31件行った。

Q 近隣の長崎市、長与町、西海市、諫早市、大村市の5自治体のうち、現在「除外申請制度」がない自治体はいくつあるか。

本町も町民に自衛隊に個人情報を提供していることを知らせ、その周知徹底を図ることが必要ではないか。

A 本町は現在、「除外申請制度」を設けていない。

しかし、近隣の長崎市、長与町、西海市、諫早市、大村市の5自治体を調査したところ、制度がない自治体は西海市だけだった。

本町としては、町民の個人情報保護に対する意識の変容等を踏まえ、近隣の除外申請制度導入自治体の取り組み状況を参考にしながら、制度を導入したい。

子ども版「防衛白書」の送付は 断るべきではないか

使用については慎重に判断していきたい

相川 教育長

Q 防衛省が、子ども版「防衛白書」を全国約2千4百の小学校に計6千百冊配布していたことがわかった。

文書は中国やロシアなどを名指しして脅威をあり軍事力強化を正当化し、意見が分かれる安全保障政策などについて政府の見解を一方的に教え込む内容で、教育現場で戸惑いの声が上がっている。

長崎市では、さまざまな国々にルーツを持つ子ども達が在籍し、特定の国を名指しする白書の内容が子ども達を傷つける可能性があるた



子ども版「防衛白書」

め、職員室など子どもの目が届かない場所に保管する対応をとっているとのことだが、本町ではどういう対応をしているか。

A 現在、小学校4校とも、校長室や職員室に保管している。

Q 来年以降は「防衛白書」の送付は必要ないと断るべきではないか。

A 今回の子ども版「防衛白書」の小学校配布に関しては、長崎県教育委員会から九州防衛局へ学校現場から懸念の声が上がっていることを伝えている。

今後の対応については、県や他市町の動向を参考にしながら、送付されてきた資料は事前に内容を十分に確認し、活用の仕方を検討し、適さない場合は使用しないことも含め慎重に判断していきたい。



ぶどう栽培の果樹園

久保 哲也 議員

録画放送はこちらから

「果樹生産者」に対する
振興策を求め

今後とも補助事業を推進したい

山上 町長

Q 地場産業、特にぶどう、柑橘、枇杷の果樹生産者に対する具体的な振興策はあるか。

A 農業振興費補助金事業として、農業用施設の保全対策に関する事業、認定農業者の育成に関する事業に補助金を交付している。

「ぶどう」では、優良系統の苗木等の購入、無核栽培薬剤の購入、「柑橘」では、光反射マルチ資材やフィガロン乳剤の購入、「枇杷」については、紫斑症対策のための遮光率の高い袋の購入などの補助を行っている。

Q 栽培放棄される果樹園に対策は立てられないか。

A 荒廃農地等の対策として、農業委員会が農地利用状況調査の結果をもとに、遊休農地の所有者への「農地利用意向調査」を行っている。

この調査により、耕作の再開を促すとともに、売りたい、貸したいという意向がある農地については、新規就農や規模拡大を希望する方に紹介し、農地の売買や貸借の斡旋を行うなど、遊休農地の解消、農地の有効活用に取り組んでいる。

昨年度、国の施策により、本町では、子々川、日並、西時津の3つの地区について、地域農業の将来設計図である「地域計画」を策定した。

Q 援農のためのマッチング制度を導入してはどうか。

A 農業の労働力不足解決のための援農のマッチング制度について、「地域計画」の協議の場や「JA長崎せいひ」の各部会などにおいて、農業

者の意見等を把握したうえで、必要であれば、農業者や関係者とともに協議していきたいと考えている。

学校における「平和教育」とは

必要不可欠なものと考えて

相川 教育長

Q 被爆体験／戦没者遺族による「語り部の平和教育」をどう受け止めるか。

A 被爆体験者や戦没者遺族の生の体験談を語り継ぐ「語り部の平和教育」の必要性は、次の世代を担う児童生徒たちにとって、とても重要なことだと認識している。

自ら体験したからこそ分かる戦争の悲惨さや原爆の惨さを、自ら言葉にして、その思いを語り伝えることができる語り部からの体験談を聴くことは、児童生徒にとって説得力のある効果的な平和教育につながり、必要不可欠なものと考えている。

Q 「語り部の軸足」「語り継ぐ」から「語り直す」に移行しつつあるが現場環境はどうか。

A 戦争や被爆経験者の方から、直接話を聞くことができる機会が減っていく中で、課題となるのは、記憶



学習用DVD

記録をどのようにして次世代へ受け継いでいくか、「語り継ぐ」という行為が年々、困難になっていく状況で、学校現場としては、平和教育を伝承していくための方策が求められている。

語り部からの体験談を映像や音声として後世に残すことも「語り継ぐ」ことのひとつの方法として重要である。

Q 「語り部」実施の障壁となる要件はあるか。

A 障壁となる要件はない。

あえて言うならば、小学校においては、低学年から高学年まで、年齢による知識や理解力に差があるため、その発達段階に応じた題材の準備や表現方法が必要であるため、全校児童を一緒に同じ内容で実施することは難しいと考えている。



永田 博信 議員



録画放送はこちらから

オンライン英会話授業へ
転換をすべきでは

積極的に検討していく

相川 教育長

Q 「中学生の海外派遣事業」はい
つから実施しているか。

A 「中学生の海外派遣事業」は外
国の文化・風土・習慣に触れること
で、国際的視野を広めると共に語学
力の向上の為、令和元年から実施し
ている。



佐賀県上峰町のオンライン授業風景

Q 事業に関する効果については、
どのような検証がなされているか。

A 英語の成績の変化については、
調査していないが、派遣した生徒の
一人は、現在モリナダ留学中である。

Q 佐賀県上峰町が導入している、
オンライン英会話授業の評価は。

A 令和6年12月長崎県町村教育長
会で、上峰町への視察を行い、導入
に至る経緯や効果について説明を受
けた。

授業参観では、フィリピンのセブ
島とオンラインでつなぎ、課題に
沿って生徒とフィリピン人講師との
マンツーマンでの英会話レッスンを
実施された。

生徒一人ひとりの会話レベルに合
わせて対応しているため、生徒たち
も躊躇せず笑顔で積極的に発言して
いる姿が印象的であった。

オンライン英会話の導入効果は、
英語の授業に対して意欲的に取り組
むようになり、「話すこと」「聞くこ
と」の分野で向上し、中学生全体の
英語力向上につながり、グローバル
化に対応した英語教育環境として非
常に有効であると評価している。

Q 「中学生の海外派遣事業」を「オ
ンラインによる英会話授業」に切り
替えるよう検討してはどうか。

A 海外派遣事業は、十名程度の選
抜された中学生が国際的視野を広
め、貴重な体験を得る機会でもある。

一方、中学生全員が個別に受ける
「オンラインによる英会話授業」の
導入は、一人ひとりの会話量が増え、
海外の文化を身近に感じられると共
に、中学生全体の英語力の底上げに
つながると考えている。

「海外派遣事業」の費用対効果の
検証を行いつつ、「オンラインによ
る英会話授業」の導入についても積
極的に検討していく。

義務教育学校設置の必要性は

理想の教育環境と考える

相川 教育長

Q 「義務教育学校」設置の必要性
の考えは。

A 「一ギャップ」の解消、9年
間を通しての「異学年の交流」によ
る精神的な発達や社会性の育成、9
年間を考慮してのカリキュラム作成
や指導が可能となり、つまずきやす
い内容は、定められた学年以外でも
繰り返し指導できるようにする。

未来を担う子ども達に求められる
資質と能力を育成するためには、学
校・家庭・地域が一体となり、9年
間の切れ目ない一貫した教育を行う



義務教育学校 イメージ図

ことが必要と感じている。

Q 教育環境や自然環境の変化に対
応するためにも「義務教育学校設置
計画」の策定は急ぐべきと考える。
また、総合体育館や総合グラウン
ドとしての活用が見込める学校施設
の整備についての考えは。

A 小中学校が一体となった義務教
育学校を実際導入することに対し、
既存の施設での児童生徒の受け入れ
が可能なのか、ハード面で解決しな
ければいけない課題もある。

その課題に向き合う過程で総合体
育館や総合グラウンドとして活用が
見込める学校施設の必要性について
も、住民の意見や費用対効果の面と
合わせて議論する必要がある。

現時点では義務教育学校を設置す
るにはハード、ソフト両面において
クリアしなければならぬ課題があ
り、計画策定は長期的な視点で計画
し、段階的に進める必要がある。

顧問：中谷恵理子 なかに えりこ

部員数

3年生	17名
2年生	8名
1年生	14名



私たち時津中学校美術部は、絵の得意不得意に関係なく、美術に興味がある生徒や絵を描くことが好きな生徒が集まった、とても温かい部活動です。

39名で、日々楽しく活動しています。

日々の部活動では、県展に応募する作品を制作したり、薬物乱用防止ポスター、明るい選挙啓発ポスターなどを描いています。

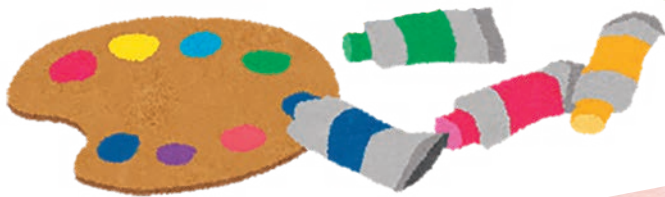
中には、入賞するなど、良い成績を収めている生徒もいます。

また、体育の横断幕を制作して大会を盛り上げたり、合唱コンクールの大看板を制作しステージを引き立てたりするなど、学校行事にも、大きく関わっています。

楽しく会話しながら絵を描く中で、部員同士でコツを教え合ったり、先生方からアドバイスをいただいたりして、画力やセンスを伸ばしています。

これからも充実した部活動を行っていききたいです。





議会傍聴記



安田産業汽船(株)
代表取締役

安田 舟平 さん

初めて傍聴に参りました。

地方公共交通についての一般質問があり、人口減少や燃料費の高騰、修繕費の増加、人材不足、さらにはコロナ禍を経たライフスタイルの変化など、多くの課題を抱えており、維持が年々難しくなっている状況を通して活発な議論が行われていました。

私自身、時津町に移り住み、この町での暮らしを大変気に入っております。

人と人の距離の近さに温かみを感じると同時に、都市機能を備えた洗練された一面を持つ、とても魅力的な町だと実感しております。

私はこれからもこの町で生きていきます。

敬老の日に寄せて

このたびは、大変おめでとうございます。令和7年9月12日現在、全国の100歳以上の高齢者は、9万9千763人であり、昨年比では、4千644人増加しています。全体のうち女性が約88%の8万7千784人、男性は、1万1千979人です。また、女性の最高齢は114歳、男性は、111歳です。

本町で見えますと、令和7年9月1日現在、100歳以上の高齢者は、合計22名、女性が21名、男性が1名です。

日並郷の敬老祝賀会では120名の方が参加し、美味しいお弁当を食べながら、子ども達の踊り、ハーモニカ演奏を見たり、聴いたり、楽しく過ごされました。これからお身体を大切に頂き、また、来年元氣でお会いいたしましょう。

9月に行われた日並郷の敬老祝賀会



*前号178号に誤りがございましたので、以下のとおり訂正致します。

・P14 浜辺議員一般質問の下段写真にて、「障がい児通所事業のこども食堂」との記載がございましたが、当該写真に写っているこども食堂は、大人も子ども誰でも利用可能な「こども食堂」として運営・活動しているものです。

この記載により、こども食堂の活動内容について誤解を招く表現となってしまうことを深くお詫び申し上げます、ここに訂正致します。

関係者の方々にはご迷惑おかけ致しました。

発行責任者
議長 山口 一三

9月議会の傍聴者は、延べ42人でした。次の定例会は、令和7年12月2日(火)からの予定です。皆様の傍聴をお待ちしております。

TEL 0955-882-2211
FAX 0955-882-7192

議会開催中は、12月2日より「時津町議会本会議」を同時放送します。

<https://togitsu-town.stream.jfit.co.jp>

時津町議会映像配信

検索

